

杉山和一生誕 400 年記念事業

杉山和一資料館（仮称）建設趣意書

公益財団法人杉山検校遺徳顕彰会

理事長 和久田 哲司

杉山和一生誕 400 年記念事業実行委員会

委員長 時任 基清

当資料館建設の目的は、杉山検校和一に関係する 400 年にわたる古文書や文献、あるいは東京都史跡「惣録屋敷（現 江島杉山神社）」の貴重な歴史的資料などの文化財を保存し、一般に公開することにあります。また日本伝統鍼灸按摩に関する研究と後継者の育成に努め、学術興隆を図ってまいります。

さらに地元のコミュニティースペースとして利用することにより、福祉町づくりに貢献したいと考えております。

〔建設事業の趣旨〕

江戸時代を代表する全盲の鍼医・杉山検校和一（1610～1694）は、2010（平成 22）年に生誕 400 年を迎えました。杉山和一は、およそ 350 年前に日本固有の管鍼術を考案した日本鍼灸療法の中興の祖であります。

また、和一は 1682 年には鍼治講習所を開設して、視覚障害者に学術の道を開きました。以来、後継者らによって全国 45 か所の鍼治講習所が開かれることとなり、現在の盲学校教育の基となっております。この偉業は、1784 年にフランスのヴァランタン・アユイ (Valentin Hauy) が、視覚障害者教育を欧州で初めて行ったとされる 100 年余りも前のことでもあります。この功績により日本の視覚障害者に鍼灸・按摩療法が生業として確率されました。

1692 年に当時の視覚障害者組織である当道座の総検校という代表者になると、それまでの音曲、金融業の制度を正して社会整備にも貢献し、視覚障害者の地位向上と社会的自立に尽くしました。

すなわち杉山和一は、わが国の医療、障害教育、そして障害者自立と社会福祉の先達であり、世界に類を見ない我が国の偉人とも言えましょう。

1930（昭和 5）年には、こうした事業を長く継承すべく、三宅秀氏、富士川游氏らのご支援の下に、吉田弘道氏を中心に視覚障害者ら関係各位が財団法人杉山検校遺徳顕彰会を設立して事業運営にあたってまいりました。

この杉山検校和一が目指してきた精神は自分の持てる技術、富を惜しみなく後進のために与えて、人々の健康維持増進に努めたことでもあります。この精神

は、21世紀の複雑で多様なニーズに対し、「研鑽努力・情熱・志」をもって社会に貢献する今日の青少年の鑑ともなり、勇気と希望を与えるものであります。

そして、21世紀においても伝統鍼灸・按摩療法の医療的課題に対応できる学術研究と人材を育成すること、この分野での日本の文化遺産を維持していくこと、同時に視覚障害者はもとより広く一般の皆様方の健康について未来の飛躍に向けての礎となるように努めることは、杉山検校和一の功績を継承する者の責務でもあります。その責務を果たすため、この生誕400年、歿後320年を機に、視覚障害者の生業の道を開いた地、日本鍼灸術「管鍼法」の発祥の地に、そして長く支えて来られた地元の福祉町づくりに貢献すべく、資料館(記念館)の建設を計画するものであります。

〔建設内容〕

惣録屋敷史跡地(現 江島杉山神社地内)に約60坪総2階建ての資料館(記念館)を予定。

建設に関する資金は全国からのご寄付による資金をもとに検討してまいりました。

どうか、建築趣旨をご理解いただき、ご協力ご支援をお願いいたします。

〔実行委員・発起団体〕

社会福祉法人	日本盲人会連合
公益社団法人	東京都盲人福祉協会
社会福祉法人	日本盲人社会福祉施設協議会
公益社団法人	全日本鍼灸マッサージ師会
公益社団法人	日本鍼灸師会
公益社団法人	日本あん摩マッサージ指圧師会
公益社団法人	全国病院理学療法協会
一般社団法人	日本医史学会
	日本理療科教員連盟
	東洋はり医学会
	墨田区千歳1丁目、2丁目中央町内会

〔協力支援団体〕

公益社団法人	東洋療法学校協会
	全国盲学校PTA連合会
	全国盲学校長退職校長会
	日本理学療法機材工業会
社会福祉法人	桜雲会
社会福祉法人	東京ヘレン・ケラー協会